

七ヶ浜町宇宙ルバーブ栽培移動講習会



七ヶ浜町では5月12日にルバーブ栽培に興味のある町民19人が宮城県農業・園芸総合研究所で七ヶ浜宇宙ルバーブ栽培移動講習会を開催した。

同町が国内初の栽培と言われており、外国人避暑地で有名な高山地区の住民が明治23年(1890年)に栽培したのが

始まりとされている。

ルバーブはヨーロッパ由来の西洋野菜で、酸味が非常に強く、茎を煮詰めてジャムやお菓子などに用いられる。茎は育つ途中で緑色と赤色に分かれるが、赤色になる仕組みは分かっていない。

赤色は加工した際に見栄えが良いことから、町では赤く育った株から採種することで赤色株を増やす取り組みをしている。

苗は町からの依頼で同研究所が育てており、種は一般財団法人ワンアースの「東北復興宇宙ミッション」でNASAのロケットで打ち上げ、令和3年に帰還したものを用いた。

同研究所の高橋(たかはし)勇人(はやと)技師(28)の講習後、参加者へ苗を170株配布した。参加者は「大変勉強になった。今後は生産拡大や商品化をとおして生きがいくりに繋げていきたい」と話していた。

